ホッ…と心愛（ここあ）

～このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や団体にスポットを当てたインタビューコーナーです～

主任児童委員として地域活動に携わるお母さまからの紹介をきっかけに、茅ヶ崎南地区で取り組まれている「高砂フードドライブ」の活動に関わる、栞恵空（しえら）さんと陽悠空（ひゅうあ）さん。若い感性や力を活かし、PR動画の制作やチラシ作成などを通して活動に参加しています。今回は、お二人が地域活動へ関わるようになった経緯や、活動を通じて感じていることについて、地域活動へつないだお母さまも交え、ご家族3人にお話を伺いました。

中河弥生さん（母）
中河栞恵空（しえら）さん（姉）
中河陽悠空（ひゅうあ）さん（弟）

Q.地域福祉活動に関わり始めたきっかけを教えてください。

A.きっかけは、当時民生委員だった篠原さん（現茅ヶ崎南地区社協会長）からお声がけいただいたことでした。篠原さんは、私たちがこの地域に引っ越してきたときにも温かく挨拶をしに来てくれ、通学路では子ども達の登下校の見守りも毎日されていました。陽悠空が体育の授業で怪我をしてしばらく休んだ時には、休み明けにその話を聞いて、校庭の設備の改善を学校に掛け合ってくれたこともあったほどです。そんなことから地域で活動される方の存在は以前から身近に感じていました。

Q.お子様たちを活動に誘った経緯は？

A.子どもが参加できるボランティア活動は以前から探していました。せっかくなら自分の生活に身近で、地域に還元されるような活動が良いと思っていたのですが、なかなか丁度良いものが見当たらず…。そんな中、主任児童委員として活動を始めたことでこの地域の福祉活動が色々と見えてきて、これなら安心して子どもに紹介できるなと思ったのがきっかけです。

Q.お母さまに誘われて最初は抵抗などありましたか？また、活動してみてどうでしたか？

A.抵抗は全くなかったです。フードドライブをPRするための動画制作の話を聞いて、学校の授業でも経験があることなので、「やってみようかな」という軽い気持ちで始めました。フードドライブに参加をしてみたら、「ご近所で見かけたことがあるな」という方が皆さん活動していて、「地域はこうやってみんなに支えられているんだな」と実感しました。

Q.PR動画の制作で工夫したことや、大変だったことはありましたか？

A.PR動画は、「高砂フードドライブ」の活動を知らせるものと、実際に協力していただける方に当日の活動の様子や流れを知らせるものを二つ作ることにして、姉弟で分担しました。情報を詰め込み過ぎず、いろいろな世代の方にとって見やすい動画になるよう意識をした分、「言葉選び」には難しさがありました。食品を寄附する方、受け取る方、それぞれにどう受け止められるかを考えながら、会議の場などで活動している皆さんの思いも確認し、それを大切にしながら制作を進めました。

A.家でも姉弟で「ああでもない、こうでもない」と話し合いながら作業をしていました。動画制作やプレゼンは学校でも経験があるようですが、不特定多数の方に向けた地域活動には、また異なった気配りが必要になります。子どもたちにとっても、貴重な経験になったように思います。

Q.若い世代に地域活動に参加していただくためには、何が必要だと思いますか？

A.ボランティア活動は「やらされるもの」ではないので、もっと自然に、身近で関われるような環境があると良いと思います。また、若い世代が当たり前に持っている技術や感覚を活かせる場をつくっていけると良いですね。若い世代には、若い世代だからこそ届けられるものがあると思います。

A.私たちも今回、軽い気持ちで活動への参加を決めました。ボランティア活動を「特別なこと」としてではなく、もっと気軽に捉えても良いのかなと思います。また、きっかけや機会さえあれば、若い世代も協力したいと思っている人は多いのではないかと思うので、そうした場づくりや、情報発信が大切だと思います。

本年度から始まった地域福祉プラン3では、「みんなが、自分らしく、安心して、心豊かに暮らせるまち」を目標としています。地域づくりの主役は、特別な誰かではなく、地域で暮らす私たち一人ひとりです。皆さんも、できることから地域活動に関わってみませんか？

中河さん姉弟が制作されたPR動画

ロングver.はこちら

ショートver.はこちら

広報紙「社協ちがさき」へのご感想や、ご意見・ご要望（「ホッ…と心愛」でこんな活動をピックアップしてほしい！等）をお寄せください。

eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp

送迎ボランティア募集中！

市社協では、身体障がいのため外出が困難な車いす利用者を対象に、車いすごと乗れる福祉車両を利用し、通院等の送迎をボランティアさんの協力を得て行っています。あなたも送迎ボランティアになって、地域の福祉を支えてみませんか？

活動日・時間について

月～金曜日の8時30分～17時でご都合のよい時間（※祝日・年末年始は除く）

対象とさせていただく方

① 普通自動車免許を所持し、運転経験5年以上の方
② 過去2年以内に運転免許停止処分を受けていない方
③ 国土交通省認定講習（1日間）を受講していただける方

※普通自動車2種免許をお持ちの方は講習が免除となります。
※定年は80歳となります。
※講習費用は市社協で負担します。

夏休みおやこ手話教室

7/27（月）～7/31（金）連続5日間
時間 10時~11時30分

参加無料

会場	さがみ農協ビル2階 B会議室（新栄町13-44）
定員	30名（先着順）
対象	茅ヶ崎市内在住の小学生と保護者の方
申込期間	7/1（水）9時～
申込方法	Googleフォーム・電話・メールのいずれか ①氏名（ふりがな）②住所 ③電話番号 ④学校名・学年 ⑤知ったきっかけ

★お子様だけで参加される場合は、緊急連絡先を2か所お書きください！

Googleフォームは➡こちらから

注意
・駐車場のご用意がないため、お車での来所はご遠慮ください。駐輪場はございます。

どんな教室かな？

1. 目でわかる！
聴覚障がいのある方、ボランティアの方が手話を優しく教えてくれるよ。
実際の手話を見ながら学ぶことができる！

2. 使ってわかる！
挨拶や名前など日常生活で使う手話を学ぶ！
使いながら手話を覚えよう！

3. 伝えてわかる！
ゲームを交えて楽しくコミュニケーション！
伝え合うことの楽しさがわかる！

主催　茅ヶ崎市社会福祉協議会　　協力　茅ヶ崎市聴覚障害者協会 手話サークル・茅の会

¥ 不動産売却 ¥

◆茅ヶ崎市内の不動産を宅建士が無料査定

★「今、不動産の価格が上がっていると聞くけど、私の不動産はいくらで売れるのかな？」そんな茅ヶ崎市民の為に不動産のプロである宅建士が無料で価格査定を受任。AI の成約データに基づく机上査定から、実際に物件を見る正式査定まで全て無料。★単に価格を知りたいだけの方も利用可。

◆取扱金額最大 13 億円 期間最短 72 時間
～不動産買取の無料相談窓口を開設

★茅ヶ崎市内の戸建・土地・マンション・ビル等を不動産のプロに買い取って欲しいと希望される方に不動産買取の無料相談窓口を開設。特に以下のような方に利用を推奨。①出来るだけ早々に所有物件を現金化したい。②面倒な売却手続きを可能な限り省略したい。③不特定多数の方に室内を見られる事に抵抗があり、室内内覧の対応にストレスを感じる。④ご近所に知られず不動産を売却したい。
★草や木が生い茂った土地や、家財道具などが残置されたままの戸建・マンション、賃借人居住中の一棟アパートも現状のままで買取可。★ご来社いただいての対面相談の他、電話・メール・オンラインでのご相談も対応可。

空地空家解決

★相続された実家を空家のまましている等、「いつか解決しなければならないと思いながらも、そのままになっている」空家や空地も多いのではないでしょうか。★茅ヶ崎市内で所有する空家や空地の売却・活用でお悩みの方は、お手元のスマートフォン・携帯電話からお電話下さい。実務経験豊富なな菅沼宅建士があなたにあったプランをご提案いたします。相談は無料、秘密厳守で承ります 費 査定・相談無料 問 申 ☎0466-25-5605（受付時間 9:00-18:00 水曜定休・土日祝日受付）公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会加盟 菅沼観光開発株式会社神奈川県藤沢市藤沢 976-2（藤沢駅徒歩約 6 分）